

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	流通科学大学
設置者名	学校法人中内学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
商学部	経営学科	夜・通信	8	10		18	13	
	マーケティング学科	夜・通信				18	13	
経済学部	経済学科	夜・通信		6		14	13	
	経済情報学科	夜・通信				14	13	
人間社会学部	人間社会学科	夜・通信		14		22	13	
	観光学科	夜・通信				22	13	
	人間健康学科	夜・通信			22	13		
(備考) 1年は新課程、2～4年は旧課程。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>大学ホームページにて公開予定 https://www.umds.ac.jp/academics/g-lecture-outline-2019/ 2020年度シラバスより、実務経験の有無と、実務経験を生かした講義をどのように行っているかを記入する欄を設ける。系統的に可能かを確認中。できない場合は別途掲載の方向とする。</p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	流通科学大学
設置者名	理事長 中内 潤

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページに掲載

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	<現職> 株式会社美十 代表取締役社長	2017年4月 1日～2020 年3月31日	企業等経営者の視点から学校法人の経営・運営へ意見する
非常勤	<現職> 特定非営利活動法人 ジャパン・フィルムコミ ッション 理事長	2017年4月 1日～2020 年3月31日	企業等経営者の視点から学校法人の経営・運営へ意見する
非常勤	<現職> 日本郵政株式会社 社外取締役	2017年4月 1日～2020 年3月31日	企業等経営者の視点から学校法人の経営・運営へ意見する
非常勤	<現職> 株式会社フェリシモ 代表取締役社長	2017年4月 1日～2020 年3月31日	企業等経営者の視点から学校法人の経営・運営へ意見する
非常勤	<現職> 一般社団法人 全国スー パーマーケット協会 会長	2017年4月 1日～2020 年3月31日	企業等経営者の視点から学校法人の経営・運営へ意見する
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名（学部等名）	流通科学大学
設置者名	学校法人中内学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>前年度11月ごろの教授会・教員会において、シラバス作成にあたっての入力項目と必要事項、ならびに作成スケジュールについて告知を行う。非常勤講師については、別途科目担当の依頼と同時にシラバスの作成についても案内する。</p> <p>すべての学部において、同様に取り組んでいる。</p> <p><シラバス項目></p> <p>授業の方法、授業の概要、到達目標、提出課題、評価の方法、評価の基準、履修にあたっての注意・助言他、教科書、プリント資料及び参考文献、授業計画、予習・復習、オフィスアワー</p> <p><シラバス作成スケジュール></p> <p>前年度2月初旬 ポータルサイトにて教員入力開始（専任・非常勤）</p> <p>2月中～下旬 教員入力締切（専任・非常勤）</p> <p>3月中旬～当年度末 ポータルサイトにてシラバス公開</p> <p>6月ごろ 大学ホームページにて公開</p>																			
授業計画の公表方法	https://www.umds.ac.jp/academics/g-lecture-outline-2019/																		
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>すべての学部において、成績の評価は、各期末の定期試験、中間期の試験、授業中の提出物や授業への貢献度などを総合して行う。各科目の成績評価の基準については、シラバスに記載する。</p> <p>成績の評価は、100点満点の60点以上を合格として、次の評価をもって表す。</p> <table border="1" data-bbox="405 1503 1031 1774"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価点</th> <th>合否</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④</td> <td>90～100</td> <td rowspan="4">合格</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>80～89</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>70～79</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>60～69</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>59以下</td> <td>不合格</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td colspan="2">放棄（未受験やレポート未提出）</td> </tr> </tbody> </table>		評価	評価点	合否	④	90～100	合格	A	80～89	B	70～79	C	60～69	D	59以下	不合格	—	放棄（未受験やレポート未提出）	
評価	評価点	合否																	
④	90～100	合格																	
A	80～89																		
B	70～79																		
C	60～69																		
D	59以下	不合格																	
—	放棄（未受験やレポート未提出）																		
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>																			

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)
 すべての学部において、以下の方法でGPAの数値を算出しています。

(1)成績評価基準とグレード・ポイント (GP)

点数	評価	可否	GP	
100-90	Ⓐ	合格 (単位修得)	4	GPA<成績評価を受けた科目の単位>(分母)の対象
89-80	A		3	
79-70	B		2	
69-60	C		1	
59-0	D	不合格	0	
放棄	-		0	
認定	認	認定(合格)	GPAの計算対象外	

※認定：編入学・認定留学および資格取得における単位認定科目

(2)GPAの算出式

$$GPA = \frac{[\text{成績評価を受けた科目の単位数} \times \text{科目のGP}] \text{の合計}}{[\text{成績評価を受けた科目の単位数}] \text{の合計}}$$

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.umds.ac.jp/campus-life/counter/counter-class 入学時に全員に配布する履修要項に記載
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学のディプロマ・ポリシーは、本学の学生が卒業時に共通に身につけておくべき資質・能力と、各学部・学科所属の学生が卒業時に身につけておくべき資質・能力によって構成されています。

本学は、「流通科学大学学則」に基づき、本学の各学部・学科に所定の期間在学し所定の単位を取得したことをもって、これらの資質・能力を身につけたものとみなし、学生の所属学科に応じた学士の学位を授与します。

本学の学生が卒業時に共通に身につけておくべき資質・能力は、以下の5項目です。

- (1)「ネアカ のびのび へこたれず」の精神をもった人材
- (2) 知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材
- (3) 創造力(新しい視点と豊かな発想)を持った人材
- (4) 自主・自立の精神を持った人材
- (5) 仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材

卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-diploma-policy/
------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	流通科学大学
設置者名	学校法人中内学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学公式HP上の計算書類(PDF形式)のなかで公表。 http://www.umds.ac.jp/guide/finance/index.html
収支計算書又は損益計算書	大学公式HP上の計算書類(PDF形式)のなかで公表。 http://www.umds.ac.jp/guide/finance/index.html
財産目録	大学公式HP上で公表。 http://www.umds.ac.jp/guide/finance/index.html
事業報告書	大学公式HP上で公表(PDF形式でのダウンロードも可能。) http://www.umds.ac.jp/guide/finance/index.html
監事による監査報告(書)	大学公式HP上でPDFダウンロード形式で公表。 http://www.umds.ac.jp/guide/finance/index.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:2019年度事業計画 対象年度:2019年度)
公表方法:ホームページ https://www.umds.ac.jp/about/finance/finance-2019
中長期計画(名称:中内学園中長期計画(第三次) 対象年度:2017~2019年度)
公表方法:ホームページ https://www.umds.ac.jp/about/business-summary/n-plan3

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:ホームページで公開 https://www.umds.ac.jp/about/evaluation/self-assessment-report

(2) 認証評価の結果

公表方法:ホームページで公開 https://www.umds.ac.jp/about/evaluation/evaluation-juaa/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 商学部経営学科
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.umds.ac.jp/about/purpose/)
(概要) (1) 流通(人、モノ、カネ、情報、サービスの流れ)を通して社会システムを理解し、豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持った人材を育成する。 (2) 生活者のニーズを的確につかみ、社会の多様な文化や地域特性に配慮できる、現場に強い実践的な人材を育成する。 (3) 問題を発見し、分析し、持続可能な解決策を構想できる能力を身につけた人材を育成する。 (4) 知識や理論を発展させ、実践的な政策やスキルに変換できる人材を育成する。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-diploma-policy/)
(概要) 本学のディプロマ・ポリシーは、本学の学生が卒業時に共通に身につけておくべき資質・能力と、各学部・学科所属の学生が卒業時に身につけておくべき資質・能力によって構成されています。 本学は、「流通科学大学学則」に基づき、本学の各学部・学科に所定の期間在学し所定の単位を取得したことをもって、これらの資質・能力を身につけたものとみなし、学生の所属学科に応じた学士の学位を授与します。 本学の学生が卒業時に共通に身につけておくべき資質・能力は、以下の5項目です。 (1) 「ネアカ のびのび へこたれず」の精神をもった人材 (2) 知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材 (3) 創造力(新しい視点と豊かな発想)を持った人材 (4) 自主・自立の精神を持った人材 (5) 仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-curriculum-policy/)
(概要) I 全学に共通する教育課程の編成・実施方針 本学では、授業科目を次のとおり区分して教育課程を編成します。 全体を全学共通科目と学部専門科目とに区分し、加えて商学部マーケティング学科に教職課程科目を置きます。このうち、全学共通科目は、全学基幹科目、全学基礎科目、教養科目、キャリア科目、留学生科目によって編成され、学部専門科目は、学部共通科目、学科専門科目によって編成されます。卒業認定・学位授与を受けるためには、各科目区分に応じて最低必要単位を取得することが求められます。 各科目区分の教育課程の編成方針は以下のとおりです。本学の学生が「流通科学大学の卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」に示された資質・能力を身につけることができるよう体系的に科目を配置し、実施します。実施にあたっては、1年を前期と後期に区分し(セメスター制)、さらに各学期に履修登録ができる単位数に上限を設けることにより、学生が各学期中に集中して学ぶことができるようにします。それぞれの開講科目については、科目の性質・目的に応じて受講者数の上限を設け、受講者数が上限を大幅に上回る場合は、複数クラス開講等の措置をとり、各クラスの受講者数を適正に保つようにします。 II 商学部・学科における教育課程の編成・実施方針

商学部の「学部専門基礎科目」には、経営学科・マーケティング学科共通の専門科目を6科目配置します。これらは学部専門教育の基礎となる科目です。「特別研究科目」には、現実の経営問題の理解を深めることができるよう、商品の立案・企画に携わることを目指した少人数クラスの科目や関連する業界・企業で活躍している外部講師による科目などを配置します。

【経営学科】

経営学科には、経営戦略コース、ビジネスリーダーコース、グローバル経営コース、会計コースを置き、各コースの基幹科目に、共通の必修科目として「経営管理論A」を配置します。この科目を含めて、各コースの教育課程を以下のように編成・実施します。

・経営戦略コース

現代企業の経営問題を幅広い視点から理解し、問題の解決案を提案できる学生を育てることを目指して教育課程を編成します。主な進路は、製造業、商業、金融業など幅広い業種を対象とします。基幹科目には管理、組織運営を中心とした科目を配置して、経営戦略理解の基礎とします。展開科目では管理、組織運営をより深く学ぶと同時に、関連する経営諸問題を理解できる諸科目を配置します。

・ビジネスリーダーコース

ビジネスに強い関心を持ち続けている学生に対し、自ら率先してビジネスに参画できる学生を育てることを目指して教育課程を編成します。主要な進路は、製造業、商業、金融業などの幅広い業種に加え、自ら事業を興すことも含みます。基幹科目として、「ベンチャー企業論」や「経営革新論」を中心科目に据え、基礎を固めます。展開科目としては、事業遂行、経営に必要な幅広い科目を配置します。

・グローバル経営コース

グローバルな経営環境に身を置くことに関心を持つ学生を育てることを目指して教育課程を編成します。主要な進路は、グローバルな環境に関わる製造業、商業、金融業など幅広い業種を対象とします。基幹科目としては、「国際経営論」、「アジアビジネス論」を中心に据え、学生の関心を高めます。展開科目は、アジアへのグローバル化を中心として、広く経済の理解から流通業を含めた幅広い視点でのグローバル経営の理解を深めることを目的とした科目を配置します。

・会計コース

企業会計の仕組みや制度を熟知し、資金面から経営問題について提案できる学生を育てることを目指して教育課程を編成します。主な進路は、企業の経理部門、金融機関、税理士などを対象とします。基幹科目としては「商業簿記1」、「財務会計論1」を中心に据え、基礎知識の確実な習得を目指します。展開科目としては応用的な会計科目、資金管理に関する科目、経営の理解に必要な経営の基礎科目を配置します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：入試ガイドブック、本学HP）

（概要）流通科学大学 入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

高校時代の成果・体験・経験、例えば「課外活動」「特技」「社会的活動や貢献」「資格取得」「プレゼンテーション力」などを活用して、大学入学後もさらにその分野を極め活躍しようと思う者、また、将来、家業の事業を継承しさらに発展を目指そうとする者や起業を目指す者など、さまざまな切り口で適性を持つ前向きな人材を、多彩な入試制度で受け入れる。

高校段階の学業面で身につけておくべきことは、国語分野では幅広い話題についての文章の読解力・作成能力、英語分野では基本的な文章の読解力と、基本的な情報・考えを英語で伝える力、数学分野では基礎的な計算力や根拠となる公式による論理的展開能力、社会科学分野では学習した科目の基本事項の理解とその学習から得られる思考力と判断力である。

大学全体の受入方針に加え、学部毎には次の分野に興味を持っている人材を求める。

商学部

マーケティング学科 「マーケティング」分野 「流通システム」分野

経営学科 「リテールマネジメント」分野 「経営戦略」分野 「会計」分野

経済学部

経済学科 「現代経済」分野 「地域まちづくり」分野

経済情報学科 「経済情報」分野 「情報システム」分野

人間社会学部 人間社会学科 「社会システム」分野 「生活文化」分野 「心理」分野 観光学科 「観光事業」分野 「ホテル・ブライダル」分野 人間健康学科 「健康マネジメント」分野 「スポーツ健康」分野
--

学部等名 商学部マーケティング学科
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.umds.ac.jp/about/purpose/)
(概要) (1) 流通(人、モノ、カネ、情報、サービスの流れ)を通して社会システムを理解し、豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持った人材を育成する。 (2) 生活者のニーズを的確につかみ、社会の多様な文化や地域特性に配慮できる、現場に強い実践的な人材を育成する。 (3) 問題を発見し、分析し、持続可能な解決策を構想できる能力を身につけた人材を育成する。 (4) 知識や理論を発展させ、実践的な政策やスキルに変換できる人材を育成する。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-diploma-policy/)
(概要) 本学のディプロマ・ポリシーは、本学の学生が卒業時に共通に身につけておくべき資質・能力と、各学部・学科所属の学生が卒業時に身につけておくべき資質・能力によって構成されています。 本学は、「流通科学大学学則」に基づき、本学の各学部・学科に所定の期間在学し所定の単位を取得したことをもって、これらの資質・能力を身につけたものとみなし、学生の所属学科に応じた学士の学位を授与します。 本学の学生が卒業時に共通に身につけておくべき資質・能力は、以下の5項目です。 (1) 「ネアカ のびのび へこたれず」の精神をもった人材 (2) 知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材 (3) 創造力(新しい視点と豊かな発想)を持った人材 (4) 自主・自立の精神を持った人材□ (5) 仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-curriculum-policy/)
(概要) I 全学に共通する教育課程の編成・実施方針 本学では、授業科目を次のとおり区分して教育課程を編成します。 全体を全学共通科目と学部専門科目とに区分し、加えて商学部マーケティング学科に教職課程科目を置きます。このうち、全学共通科目は、全学基幹科目、全学基礎科目、教養科目、キャリア科目、留学生科目によって編成され、学部専門科目は、学部共通科目、学科専門科目によって編成されます。卒業認定・学位授与を受けるためには、各科目区分に応じて最低必要単位を取得することが求められます。 各科目区分の教育課程の編成方針は以下のとおりです。本学の学生が「流通科学大学の卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」に示された資質・能力を身につけることができるよう体系的に科目を配置し、実施します。実施にあたっては、1年を前期と後期に区分し(セメスター制)、さらに各学期に履修登録ができる単位数に上限を設けることにより、学生が各学期中に集中して学ぶことができるようにします。それぞれの開講科目については、科目の性質・目的に応じて受講者数の上限を設け、受講者数が上限を大幅に上回る場合は、複数クラス開講等の措置をとり、各クラスの受講者数を適正に保つよう

にします。

II 商学部・学科における教育課程の編成・実施方針

商学部の「学部専門基礎科目」には、経営学科・マーケティング学科共通の専門科目を6科目配置します。これらは学部専門教育の基礎となる科目です。「特別研究科目」には、現実の経営問題の理解を深めることができるよう、商品の立案・企画に携わることを目指した少人数クラスの科目や関連する業界・企業で活躍している外部講師による科目などを配置します。

【マーケティング学科】

マーケティング学科には、ブランド戦略コース、流通ビジネスコースを置きます。マーケティングの基礎知識の土台として、学部専門基礎科目に「マーケティング論」と「流通システム論」を配置することに加え、各コースの基幹科目に、共通の必修科目として「消費者行動論」を配置します。また、マーケティング学科では商業教員免許状も併せて取得できるように、免許に必要な科目を配置します。これらの科目を含めて、各コースの教育課程を以下のように編成・実施します。

・ブランド戦略コース

現代ビジネスにおけるマーケティングの役割、重要性を理解した上で顧客や社会の問題に対する解決案を提案できる力を育成することを目指して教育課程を編成します。基幹科目として「消費者行動論」、「マーケティングリサーチ」を中心に据え、マーケティングの基本的な考え方を理解できるようにします。展開科目として、ブランド構築につながるようなマーケティング論や消費者行動の関連科目を配置し、ブランド戦略に対する理解を深めます。

・流通ビジネスコース

流通ビジネスの魅力や流通ビジネスを取り巻く経営環境を深く理解し、流通ビジネスの世界で活躍できる学生を育成することを目指して教育課程を編成します。基幹科目として「消費者行動論」、「リテールマネジメント概論」等を中心に据え、流通ビジネスに関する基本的な考え方を理解できるようにします。展開科目として、流通関連企業が直面する諸問題を多面的に理解できるような科目を配置します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：入試ガイドブック、本学HP）

（概要）流通科学大学 入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

高校時代の成果・体験・経験、例えば「課外活動」「特技」「社会的活動や貢献」「資格取得」「プレゼンテーション力」などを活用して、大学入学後もさらにその分野を極め活躍しようとする者、また、将来、家業の事業を継承しさらに発展を目指そうとする者や起業を目指す者など、さまざまな切り口で適性を持つ前向きな人材を、多彩な入試制度で受け入れる。

高校段階の学業面で身につけておくべきことは、国語分野では幅広い話題についての文章の読解力・作成能力、英語分野では基本的な文章の読解力と、基本的な情報・考えを英語で伝える力、数学分野では基礎的な計算力や根拠となる公式による論理的展開能力、社会科学分野では学習した科目の基本事項の理解とその学習から得られる思考力と判断力である。

大学全体の受入方針に加え、学部毎には次の分野に興味を持っている人材を求める。

商学部

マーケティング学科 「マーケティング」分野 「流通システム」分野

経営学科 「リテールマネジメント」分野 「経営戦略」分野 「会計」分野

経済学部

経済学科 「現代経済」分野 「地域まちづくり」分野

経済情報学科 「経済情報」分野 「情報システム」分野

人間社会学部

人間社会学科 「社会システム」分野 「生活文化」分野 「心理」分野

観光学科 「観光事業」分野 「ホテル・ブライダル」分野

人間健康学科 「健康マネジメント」分野 「スポーツ健康」分野

学部等名 経済学部経済学科

教育研究上の目的（公表方法：<https://www.umds.ac.jp/about/purpose/>）

<p>(概要)</p> <p>(1) 流通（人、モノ、カネ、情報、サービスの流れ）を通して社会システムを理解し、豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持った人材を育成する。</p> <p>(2) 生活者のニーズを的確につかみ、社会の多様な文化や地域特性に配慮できる、現場に強い実践的な人材を育成する。</p> <p>(3) 問題を発見し、分析し、持続可能な解決策を構想できる能力を身につけた人材を育成する。</p> <p>(4) 知識や理論を発展させ、実践的な政策やスキルに変換できる人材を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-diploma-policy/)</p>
<p>(概要)</p> <p>本学のディプロマ・ポリシーは、本学の学生が卒業時に共通に身につけておくべき資質・能力と、各学部・学科所属の学生が卒業時に身につけておくべき資質・能力によって構成されています。</p> <p>本学は、「流通科学大学学則」に基づき、本学の各学部・学科に所定の期間在学し所定の単位を取得したことをもって、これらの資質・能力を身につけたものとみなし、学生の所属学科に応じた学士の学位を授与します。</p> <p>本学の学生が卒業時に共通に身につけておくべき資質・能力は、以下の5項目です。</p> <p>(1) 「ネアカ のびのび へこたれず」の精神をもった人材</p> <p>(2) 知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材</p> <p>(3) 創造力（新しい視点と豊かな発想）を持った人材</p> <p>(4) 自主・自立の精神を持った人材□</p> <p>(5) 仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-curriculum-policy/)</p>
<p>(概要)</p> <p>I 全学に共通する教育課程の編成・実施方針</p> <p>本学では、授業科目を次のとおり区分して教育課程を編成します。</p> <p>全体を全学共通科目と学部専門科目とに区分し、加えて商学部マーケティング学科に教職課程科目を置きます。このうち、全学共通科目は、全学基幹科目、全学基礎科目、教養科目、キャリア科目、留学生科目によって編成され、学部専門科目は、学部共通科目、学科専門科目によって編成されます。卒業認定・学位授与を受けるためには、各科目区分に応じて最低必要単位を取得することが求められます。</p> <p>各科目区分の教育課程の編成方針は以下のとおりです。本学の学生が「流通科学大学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」に示された資質・能力を身につけることができるよう体系的に科目を配置し、実施します。実施にあたっては、1年を前期と後期に区分し（セメスター制）、さらに各学期に履修登録ができる単位数に上限を設けることにより、学生が各学期中に集中して学ぶことができるようにします。それぞれの開講科目については、科目の性質・目的に応じて受講者数の上限を設け、受講者数が上限を大幅に上回る場合は、複数クラス開講等の措置をとり、各クラスの受講者数を適正に保つようにします。</p> <p>II 経済学部・学科における教育課程の編成・実施方針</p> <p>経済学部の「学部専門基礎科目」には、経済学科・経済情報学科共通の専門科目を6科目配置します。これらは学部専門教育の基礎となる科目です。「特別研究科目」には、専門科目で修得した知識を基に、より専門性の高い内容を少人数クラスで学ぶ科目や学外の現地研修を通して学ぶ科目、関連する業界・企業で活躍している外部講師による科目などを配置します。</p> <p>【経済学科】</p> <p>経済学科には、現代経済コース、地域まちづくりコースの2つのコースを置き、各コース</p>

の教育課程を次のように編成・実施します。

- ・現代経済コース

現代経済コースは、世の中の動きを理解して、社会の諸問題に解決策を提案できる人材を育成することを目指して教育課程を編成します。主な進路は、公務員・金融業・流通小売業などオールラウンドな業種です。職種としては経営・企画・管理部門です。基幹科目には、学生が広い視野で経済全体を見渡せるようになるよう、「マクロ経済学」などの科目を配置します。展開科目として、経済の様々な応用分野科目を配置します。

- ・地域まちづくりコース

経済学を基盤にして、複雑化する地域社会で生起する問題を読み解き、解決策を提案できる能力を身につけた人材を育成することを目指して教育課程を編成します。より良い地域社会の創出に関わる様々な業種で活躍するために、現実の課題を対象とし、計画論・政策論、個別課題に関する専門的知識、情報の収集・分析の方法論、を学ぶ科目を体系的に配置します。基幹科目には経済・地域・情報の各分野の基礎的な科目を配置し、展開科目にはそれらの知識や知恵を広く、深くする科目を配置し、実施します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：入試ガイドブック、本学HP）

（概要）流通科学大学 入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

高校時代の成果・体験・経験、例えば「課外活動」「特技」「社会的活動や貢献」「資格取得」「プレゼンテーション力」などを活用して、大学入学後もさらにその分野を極め活躍しようと思う者、また、将来、家業の事業を継承しさらに発展を目指そうとする者や起業を目指す者など、さまざまな切り口で適性を持つ前向きな人材を、多彩な入試制度で受け入れる。

高校段階の学業面で身につけておくべきことは、国語分野では幅広い話題についての文章の読解力・作成能力、英語分野では基本的な文章の読解力と、基本的な情報・考えを英語で伝える力、数学分野では基礎的な計算力や根拠となる公式による論理的展開能力、社会科学分野では学習した科目の基本事項の理解とその学習から得られる思考力と判断力である。

大学全体の受入方針に加え、学部毎には次の分野に興味を持っている人材を求める。

商学部
 マーケティング学科 「マーケティング」分野 「流通システム」分野
 経営学科 「リテールマネジメント」分野 「経営戦略」分野 「会計」分野

経済学部
 経済学科 「現代経済」分野 「地域まちづくり」分野
 経済情報学科 「経済情報」分野 「情報システム」分野

人間社会学部
 人間社会学科 「社会システム」分野 「生活文化」分野 「心理」分野
 観光学科 「観光事業」分野 「ホテル・ブライダル」分野
 人間健康学科 「健康マネジメント」分野 「スポーツ健康」分野

学部等名 経済学部経済情報学科

教育研究上の目的（公表方法：<https://www.umds.ac.jp/about/purpose>）

（概要）

- (1) 流通（人、モノ、カネ、情報、サービスの流れ）を通して社会システムを理解し、豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持った人材を育成する。
- (2) 生活者のニーズを的確につかみ、社会の多様な文化や地域特性に配慮できる、現場に強い実践的な人材を育成する。
- (3) 問題を発見し、分析し、持続可能な解決策を構想できる能力を身につけた人材を育成する。
- (4) 知識や理論を発展させ、実践的な政策やスキルに変換できる人材を育成する。

卒業の認定に関する方針（公表方法：<https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-diploma-policy/>）

(概要)

本学のディプロマ・ポリシーは、本学の学生が卒業時に共通に身につけておくべき資質・能力と、各学部・学科所属の学生が卒業時に身につけておくべき資質・能力によって構成されています。

本学は、「流通科学大学学則」に基づき、本学の各学部・学科に所定の期間在学し所定の単位を取得したことをもって、これらの資質・能力を身につけたものとみなし、学生の所属学科に応じた学士の学位を授与します。

本学の学生が卒業時に共通に身につけておくべき資質・能力は、以下の5項目です。

- (1) 「ネアカ のびのび へこたれず」の精神をもった人材
- (2) 知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材
- (3) 創造力(新しい視点と豊かな発想)を持った人材
- (4) 自主・自立の精神を持った人材
- (5) 仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材

教育課程の編成及び実施に関する方針(公表方法:

<https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-curriculum-policy>)

(概要)

I 全学に共通する教育課程の編成・実施方針

本学では、授業科目を次のとおり区分して教育課程を編成します。

全体を全学共通科目と学部専門科目とに区分し、加えて商学部マーケティング学科に教職課程科目を置きます。このうち、全学共通科目は、全学基幹科目、全学基礎科目、教養科目、キャリア科目、留学生科目によって編成され、学部専門科目は、学部共通科目、学科専門科目によって編成されます。卒業認定・学位授与を受けるためには、各科目区分に応じて最低必要単位を取得することが求められます。

各科目区分の教育課程の編成方針は以下のとおりです。本学の学生が「流通科学大学の卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」に示された資質・能力を身につけることができるよう体系的に科目を配置し、実施します。実施にあたっては、1年を前期と後期に区分し(セメスター制)、さらに各学期に履修登録ができる単位数に上限を設けることにより、学生が各学期中に集中して学ぶことができるようにします。それぞれの開講科目については、科目の性質・目的に応じて受講者数の上限を設け、受講者数が上限を大幅に上回る場合は、複数クラス開講等の措置をとり、各クラスの受講者数を適正に保つようにします。

II 経済学部・学科における教育課程の編成・実施方針

経済学部の「学部専門基礎科目」には、経済学科・経済情報学科共通の専門科目を6科目配置します。これらは学部専門教育の基礎となる科目です。「特別研究科目」には、専門科目で修得した知識を基に、より専門性の高い内容を少人数クラスで学ぶ科目や学外の現地研修を通して学ぶ科目、関連する業界・企業で活躍している外部講師による科目などを配置します。

【経済情報学科】

経済情報学科には、経済情報コース、情報システムコースの2つのコースを置き、各コースの教育課程を次のように編成・実施します。

・経済情報コース

経済分析と情報処理の能力を活かして仕事をすすめることができるビジネスパーソンを育成することを目指して、基礎となり中心的役割を果たす基幹科目として、経済学科目群、情報基礎科目群、および、データに基づく経済分析力を学べる経済情報科目群を配置します。また、展開科目として、各分野の発展的・個別的科目を配置します。これらの科目を、各年次に段階的に配当し、科目選択の自由の一部を学生に委ねることによって、コースの学びの範疇の中で、各学生が学びたいことを学べるようカリキュラムを編成・実施します。

・情報システムコース

情報関連企業、企業の情報分析部門やシステムエンジニア等、経済知識と情報処理能力を合せ持つビジネスパーソンを育成することを目指して、その基礎となりまた中心的役割を果たす基幹科目として経済学科目、経済情報分析科目、情報基礎科目を置き、展開科目と

して、各分野の発展的・個別的科目を配置します。これらの科目を、各年次に段階的に配当し、科目選択の自由の一部を学生に委ねることによって、コースの学びの範疇の中で、各学生が学びたいことを学べるようカリキュラムを編成・実施します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：入試ガイドブック、本学 HP）

（概要）流通科学大学 入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）
高校時代の成果・体験・経験、例えば「課外活動」「特技」「社会的活動や貢献」「資格取得」「プレゼンテーション力」などを活用して、大学入学後もさらにその分野を極め活躍しようと思う者、また、将来、家業の事業を継承しさらに発展を目指そうとする者や起業を目指す者など、さまざまな切り口で適性を持つ前向きな人材を、多彩な入試制度で受け入れる。

高校段階の学業面で身につけておくべきことは、国語分野では幅広い話題についての文章の読解力・作成能力、英語分野では基本的な文章の読解力と、基本的な情報・考えを英語で伝える力、数学分野では基礎的な計算力や根底となる公式による論理的展開能力、社会科学分野では学習した科目の基本事項の理解とその学習から得られる思考力と判断力である。

大学全体の受入方針に加え、学部毎には次の分野に興味を持っている人材を求める。

商学部
マーケティング学科 「マーケティング」分野 「流通システム」分野
経営学科 「リテールマネジメント」分野 「経営戦略」分野 「会計」分野

経済学部
経済学科 「現代経済」分野 「地域まちづくり」分野
経済情報学科 「経済情報」分野 「情報システム」分野

人間社会学部
人間社会学科 「社会システム」分野 「生活文化」分野 「心理」分野
観光学科 「観光事業」分野 「ホテル・ブライダル」分野
人間健康学科 「健康マネジメント」分野 「スポーツ健康」分野

学部等名 人間社会学部人間社会学科

教育研究上の目的（公表方法：<https://www.umds.ac.jp/about/purpose/>）

（概要）

- (1) 流通（人、モノ、カネ、情報、サービスの流れ）を通して社会システムを理解し、豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持った人材を育成する。
- (2) 生活者のニーズを的確につかみ、社会の多様な文化や地域特性に配慮できる、現場に強い実践的な人材を育成する。
- (3) 問題を発見し、分析し、持続可能な解決策を構想できる能力を身につけた人材を育成する。
- (4) 知識や理論を発展させ、実践的な政策やスキルに変換できる人材を育成する。

卒業の認定に関する方針（公表方法：<https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-diploma-policy/>）

（概要）
本学のディプロマ・ポリシーは、本学の学生が卒業時に共通に身につけておくべき資質・能力と、各学部・学科所属の学生が卒業時に身につけておくべき資質・能力によって構成されています。

本学は、「流通科学大学学則」に基づき、本学の各学部・学科に所定の期間在学し所定の単位を取得したことをもって、これらの資質・能力を身につけたものとみなし、学生の所属学科に応じた学士の学位を授与します。

本学の学生が卒業時に共通に身につけておくべき資質・能力は、以下の5項目です。

- (1) 「ネアカ のびのび へこたれず」の精神をもった人材
- (2) 知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材
- (3) 創造力（新しい視点と豊かな発想）を持った人材
- (4) 自主・自立の精神を持った人材□
- (5) 仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：

<https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-curriculum-policy>）

（概要）

I 全学に共通する教育課程の編成・実施方針

本学では、授業科目を次のとおり区分して教育課程を編成します。

全体を全学共通科目と学部専門科目とに区分し、加えて商学部マーケティング学科に教職課程科目を置きます。このうち、全学共通科目は、全学基幹科目、全学基礎科目、教養科目、キャリア科目、留学生科目によって編成され、学部専門科目は、学部共通科目、学科専門科目によって編成されます。卒業認定・学位授与を受けるためには、各科目区分に応じて最低必要単位を取得することが求められます。

各科目区分の教育課程の編成方針は以下のとおりです。本学の学生が「流通科学大学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」に示された資質・能力を身につけることができるよう体系的に科目を配置し、実施します。実施にあたっては、1年を前期と後期に区分し（セメスター制）、さらに各学期に履修登録ができる単位数に上限を設けることにより、学生が各学期中に集中して学ぶことができるようにします。それぞれの開講科目については、科目の性質・目的に応じて受講者数の上限を設け、受講者数が上限を大幅に上回る場合は、複数クラス開講等の措置をとり、各クラスの受講者数を適正に保つようにします。

II 人間社会学部・学科における教育課程の編成・実施方針

人間社会学部の「学部専門基礎科目」には、人間社会学科、観光学科、人間健康学科共通の専門科目を7科目配置します。これらは、「社会学基礎」をはじめとして、学部専門教育の基礎となる科目です。「特別研究科目」には、学内外での演習・実践、学外の各分野の専門家・経営者の講義などを通じて、専門科目で学んだ内容を、定着・発展させ、実践的、創造的能力を修得するための科目を配置します。

【人間社会学科】

人間社会学科には、社会文化コース、心理コースの2つのコースを置き、各コースの教育課程を次のように編成・実施します。

・社会文化コース

社会の仕組みや働き、日常の生活文化を学ぶために、社会学を中心として現実社会を取り扱う多様な科目を置きます。加えて、統計調査やフィールドワークなどの実証的な研究方法に関する科目、学問的な知識を、現実社会やビジネスの実践に役立たせるための実践的、実務的な事業論科目、ビジネス関連科目を配置します。これらの科目を、理論を学ぶことにとどまらず、事例研究、ケーススタディー等を通じて実証的に学ぶことができるようにします。

・心理コース

心理学の基礎的能力と応用的能力を育成するために、基幹科目と展開科目に、心理学の基礎的科目に加えて、コミュニケーション、ビジネス、援助場面の人々の心理と行動を学ぶ科目を配置します。これらの科目については、講義科目に加えて、それぞれに対応する演習科目を配置します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：入試ガイドブック、本学HP）

（概要）流通科学大学 入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

高校時代の成果・体験・経験、例えば「課外活動」「特技」「社会的活動や貢献」「資格取得」「プレゼンテーション力」などを活用して、大学入学後もさらにその分野を極め活躍しようと思う者、また、将来、家業の事業を継承しさらに発展を目指そうとする者や起業を目指す者など、さまざまな切り口で適性を持つ前向きな人材を、多彩な入試制度で受け入れる。

高校段階の学業面で身につけておくべきことは、国語分野では幅広い話題についての文章

の読解力・作成能力、英語分野では基本的な文章の読解力と、基本的な情報・考えを英語で伝える力、数学分野では基礎的な計算力や根拠となる公式による論理的展開能力、社会科学分野では学習した科目の基本事項の理解とその学習から得られる思考力と判断力である。

大学全体の受入方針に加え、学部毎には次の分野に興味を持っている人材を求める。

商学部

マーケティング学科 「マーケティング」分野 「流通システム」分野

経営学科 「リテールマネジメント」分野 「経営戦略」分野 「会計」分野

経済学部

経済学科 「現代経済」分野 「地域まちづくり」分野

経済情報学科 「経済情報」分野 「情報システム」分野

人間社会学部

人間社会学科 「社会システム」分野 「生活文化」分野 「心理」分野

観光学科 「観光事業」分野 「ホテル・ブライダル」分野

人間健康学科 「健康マネジメント」分野 「スポーツ健康」分野

学部等名 人間社会学部観光学科

教育研究上の目的（公表方法：<https://www.umds.ac.jp/about/purpose/>）

（概要）

- (1) 流通（人、モノ、カネ、情報、サービスの流れ）を通して社会システムを理解し、豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持った人材を育成する。
- (2) 生活者のニーズを的確につかみ、社会の多様な文化や地域特性に配慮できる、現場に強い実践的な人材を育成する。
- (3) 問題を発見し、分析し、持続可能な解決策を構想できる能力を身につけた人材を育成する。
- (4) 知識や理論を発展させ、実践的な政策やスキルに変換できる人材を育成する。

卒業の認定に関する方針（公表方法：

<https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-diploma-policy/>）

（概要）

本学のディプロマ・ポリシーは、本学の学生が卒業時に共通に身につけておくべき資質・能力と、各学部・学科所属の学生が卒業時に身につけておくべき資質・能力によって構成されています。

本学は、「流通科学大学学則」に基づき、本学の各学部・学科に所定の期間在学し所定の単位を取得したことをもって、これらの資質・能力を身につけたものとみなし、学生の所属学科に応じた学士の学位を授与します。

本学の学生が卒業時に共通に身につけておくべき資質・能力は、以下の5項目です。

- (1) 「ネアカ のびのび へこたれず」の精神をもった人材
- (2) 知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材
- (3) 創造力（新しい視点と豊かな発想）を持った人材
- (4) 自主・自立の精神を持った人材
- (5) 仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：

<https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-curriculum-policy/>）

（概要）

I 全学に共通する教育課程の編成・実施方針

本学では、授業科目を次のとおり区分して教育課程を編成します。

全体を全学共通科目と学部専門科目とに区分し、加えて商学部マーケティング学科に教職課程科目を置きます。このうち、全学共通科目は、全学基幹科目、全学基礎科目、教養科目、キャリア科目、留学生科目によって編成され、学部専門科目は、学部共通科目、学科

専門科目によって編成されます。卒業認定・学位授与を受けるためには、各科目区分に応じて最低必要単位を取得することが求められます。

各科目区分の教育課程の編成方針は以下のとおりです。本学の学生が「流通科学大学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」に示された資質・能力を身につけることができるよう体系的に科目を配置し、実施します。実施にあたっては、1年を前期と後期に区分し（セメスター制）、さらに各学期に履修登録ができる単位数に上限を設けることにより、学生が各学期中に集中して学ぶことができるようにします。それぞれの開講科目については、科目の性質・目的に応じて受講者数の上限を設け、受講者数が上限を大幅に上回る場合は、複数クラス開講等の措置をとり、各クラスの受講者数を適正に保つようにします。

Ⅱ 人間社会学部・学科における教育課程の編成・実施方針

人間社会学部の「学部専門基礎科目」には、人間社会学科、観光学科、人間健康学科共通の専門科目を7科目配置します。これらは、「社会学基礎」をはじめとして、学部専門教育の基礎となる科目です。「特別研究科目」には、学内外での演習・実践、学外の各分野の専門家・経営者の講義などを通じて、専門科目で学んだ内容を、定着・発展させ、実践的、創造的能力を修得するための科目を配置します。

【観光学科】

観光学科には、観光事業コース、ホテル・ブライダルコースの2つのコースを置き、各コースの教育課程を次のように編成・実施します。

・観光事業コース

観光事業コースでは、旅行業、運輸業、観光施設業、自治体などの観光部門などの観光事業に携わる学生を育成することを目指して教育課程を編成し、観光やホスピタリティなどの原理、知識その応用を学ぶ科目、加えて、観光事業を担う個別業種の事業経営に関して学びを深めるための科目、観光に関連する産業や社会環境について学ぶ科目を配置します。

・ホテル・ブライダルコース

ホテル・ブライダルコースでは、ホテル・旅館などの宿泊業やブライダル事業などの事業に携わる学生を育成することを目指して教育課程を編成し、観光やホスピタリティなどの原理、知識その応用を学ぶ科目、加えて、ホテル・ブライダル事業の経営に関して学びを深めるための科目、人々のライフステージに基づいた市場の分析力を修得するための科目などを配置します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：入試ガイドブック、本学HP）

（概要）流通科学大学 入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

高校時代の成果・体験・経験、例えば「課外活動」「特技」「社会的活動や貢献」「資格取得」「プレゼンテーション力」などを活用して、大学入学後もさらにその分野を極め活躍しようと思う者、また、将来、家業の事業を継承しさらに発展を目指そうとする者や起業を目指す者など、さまざまな切り口で適性を持つ前向きな人材を、多彩な入試制度で受け入れる。

高校段階の学業面で身につけておくべきことは、国語分野では幅広い話題についての文章の読解力・作成能力、英語分野では基本的な文章の読解力と、基本的な情報・考えを英語で伝える力、数学分野では基礎的な計算力や根底となる公式による論理的展開能力、社会科学分野では学習した科目の基本事項の理解とその学習から得られる思考力と判断力である。

大学全体の受入方針に加え、学部毎には次の分野に興味を持っている人材を求める。

商学部

マーケティング学科 「マーケティング」分野 「流通システム」分野

経営学科 「リテールマネジメント」分野 「経営戦略」分野 「会計」分野

経済学部

経済学科 「現代経済」分野 「地域まちづくり」分野

経済情報学科 「経済情報」分野 「情報システム」分野

人間社会学部

人間社会学科 「社会システム」分野 「生活文化」分野 「心理」分野

観光学科 「観光事業」分野 「ホテル・ブライダル」分野

人間健康学科 「健康マネジメント」分野 「スポーツ健康」分野

学部等名 人間社会学部人間健康学科
教育研究上の目的（公表方法： https://www.umds.ac.jp/about/purpose/ ）
<p>（概要）</p> <p>(1) 流通（人、モノ、カネ、情報、サービスの流れ）を通して社会システムを理解し、豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持った人材を育成する。</p> <p>(2) 生活者のニーズを的確につかみ、社会の多様な文化や地域特性に配慮できる、現場に強い実践的な人材を育成する。</p> <p>(3) 問題を発見し、分析し、持続可能な解決策を構想できる能力を身につけた人材を育成する。</p> <p>(4) 知識や理論を発展させ、実践的な政策やスキルに変換できる人材を育成する。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-diploma-policy/ ）
<p>（概要）</p> <p>本学のディプロマ・ポリシーは、本学の学生が卒業時に共通に身につけておくべき資質・能力と、各学部・学科所属の学生が卒業時に身につけておくべき資質・能力によって構成されています。</p> <p>本学は、「流通科学大学学則」に基づき、本学の各学部・学科に所定の期間在学し所定の単位を取得したことをもって、これらの資質・能力を身につけたものとみなし、学生の所属学科に応じた学士の学位を授与します。</p> <p>本学の学生が卒業時に共通に身につけておくべき資質・能力は、以下の5項目です。</p> <p>(1) 「ネアカ のびのび へこたれず」の精神をもった人材</p> <p>(2) 知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材</p> <p>(3) 創造力（新しい視点と豊かな発想）を持った人材</p> <p>(4) 自主・自立の精神を持った人材□</p> <p>(5) 仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-curriculum-policy/ ）
<p>（概要）</p> <p>I 全学に共通する教育課程の編成・実施方針</p> <p>本学では、授業科目を次のとおり区分して教育課程を編成します。</p> <p>全体を全学共通科目と学部専門科目とに区分し、加えて商学部マーケティング学科に教職課程科目を置きます。このうち、全学共通科目は、全学基幹科目、全学基礎科目、教養科目、キャリア科目、留学生科目によって編成され、学部専門科目は、学部共通科目、学科専門科目によって編成されます。卒業認定・学位授与を受けるためには、各科目区分に応じて最低必要単位を取得することが求められます。</p> <p>各科目区分の教育課程の編成方針は以下のとおりです。本学の学生が「流通科学大学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」に示された資質・能力を身につけることができるよう体系的に科目を配置し、実施します。実施にあたっては、1年を前期と後期に区分し（ Semester制）、さらに各学期に履修登録ができる単位数に上限を設けることにより、学生が各学期中に集中して学ぶことができるようにします。それぞれの開講科目については、科目の性質・目的に応じて受講者数の上限を設け、受講者数が上限を大幅に上回る場合は、複数クラス開講等の措置をとり、各クラスの受講者数を適正に保つようにします。</p> <p>II 人間社会学部・学科における教育課程の編成・実施方針</p> <p>人間社会学部の「学部専門基礎科目」には、人間社会学科、観光学科、人間健康学科共通の専門科目を7科目配置します。これらは、「社会学基礎」をはじめとして、学部専門教育の基礎となる科目です。「特別研究科目」には、学内外での演習・実践、学外の各分野の専門家・経営者の講義などを通じて、専門科目で学んだ内容を、定着・発展させ、実践</p>

的、創造的能力を修得するための科目を配置します。

【人間健康学科】

人間健康学科には、スポーツマネジメントコース、スポーツ健康コースの2つのコースを置き、各コースの教育課程を次のように編成・実施します。

・スポーツマネジメントコース

スポーツマネジメントコースでは、健康・スポーツ・生活関連企業への就職を目指し、スポーツマンシップを持ったビジネスパーソンを育成します。基幹科目には人々の健康を幅広い観点からとらえることができ、スポーツとビジネスとの関わりを学修することで、将来のキャリア形成につながる知識・技能を身につけるための科目を配置します。展開科目には、社会における「ヒト・モノ・カネ・情報」に関する知識をスポーツイベントやスポーツビジネスの視点を通して学修できる科目を配置します。

・スポーツ健康コース

スポーツ健康コースでは、スポーツインストラクターや健康増進関連施設への就職を目指し、スポーツや身体を動かす楽しさを伝え、実践的に指導することができる人材を育成します。基幹科目には人々の健康を幅広い観点からとらえることができ、スポーツとビジネスとの関わりを学修することで、将来のキャリア形成につながる知識・技能を身につけるための科目を配置します。展開科目には、科学的根拠に基づくトレーニングや健康づくりに関する知識を身につけ、人々の健康づくりと競技力向上に必要な技能を学修できる科目を配置します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：入試ガイドブック、本学HP）

（概要）流通科学大学 入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

高校時代の成果・体験・経験、例えば「課外活動」「特技」「社会的活動や貢献」「資格取得」「プレゼンテーション力」などを活用して、大学入学後もさらにその分野を極め活躍しようと思う者、また、将来、家業の事業を継承しさらに発展を目指そうとする者や起業を目指す者など、さまざまな切り口で適性を持つ前向きな人材を、多彩な入試制度で受け入れる。

高校段階の学業面で身につけておくべきことは、国語分野では幅広い話題についての文章の読解力・作成能力、英語分野では基本的な文章の読解力と、基本的な情報・考えを英語で伝える力、数学分野では基礎的な計算力や根底となる公式による論理的展開能力、社会科学分野では学習した科目の基本事項の理解とその学習から得られる思考力と判断力である。

大学全体の受入方針に加え、学部毎には次の分野に興味を持っている人材を求める。

商学部

マーケティング学科 「マーケティング」分野 「流通システム」分野

経営学科 「リテールマネジメント」分野 「経営戦略」分野 「会計」分野

経済学部

経済学科 「現代経済」分野 「地域まちづくり」分野

経済情報学科 「経済情報」分野 「情報システム」分野

人間社会学部

人間社会学科 「社会システム」分野 「生活文化」分野 「心理」分野

観光学科 「観光事業」分野 「ホテル・ブライダル」分野

人間健康学科 「健康マネジメント」分野 「スポーツ健康」分野

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<http://www.umds.ac.jp/guide/org/chart.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）								
学部等名	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計	設置基準上の 必要専任教員数
—	3人	—					3人	—
商学部	—	24人	17人	4人	0人	0人	45人	25人
経済学部	—	16人	6人	2人	0人	0人	24人	18人
人間社会学部	—	20人	11人	2人	0人	0人	33人	24人
b. 教員数（兼務者）								
学長・副学長			学長・副学長以外の教員			計		
0人			96人			96人		
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： http://www.umds.ac.jp/profile/index.html						
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）								
<p>本学の授業をより良いものにし、学生の満足度を一層高めるために、初年次の教育とその後の教育の継続性や合理的配慮等に加え、本学が推し進めている「考える学習型授業」やアクティブ・ラーニング等、全教職員が研鑽を積むべきテーマを年4回のペースで提供している。</p>								

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
商学部	450人	499人	111%	1800人	1784人	99%	人	人
経済学部	200人	220人	110%	800人	874人	109%	人	人
人間社会学部	250人	264人	106%	1000人	1073人	107%	人	人
サービス産業学部	—	—	—	—	8人	—		
総合政策学部	—	—	—	—	8人	—	人	人
合計	900人	983人	109%	3600人	3747人	104%	人	人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
商学部	280人 (100%)	5人 (1.8%)	224人 (80.0%)	51人 (18.2%)
経済学部	128人 (100%)	2人 (1.6%)	111人 (86.7%)	15人 (11.7%)
人間社会学部	218人 (100%)	3人 (1.4%)	194人 (89.0%)	21人 (9.6%)
総合政策学部	13人 (100%)	0人 (0%)	9人 (69.2%)	4人 (30.8%)

サービス産業 学部	16人 (100%)	0人 (0%)	8人 (50%)	8人 (50%)
合計	655人 (100%)	10人 (1.5%)	546人 (83.4%)	99人 (15.1%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 進学先・・・大阪大学大学院、神戸大学大学院、兵庫県立大学大学院、北海道大学大学院、立命館大学大学院、流通科学大学大学院など 就職先・・・(株)伊藤園、(株)フジッコ、山崎製パン(株)、大和ハウス工業(株)、(株)ドウシシャ、四国旅客鉄道(株)、みなと銀行、尼崎市役所、大阪市消防局、神戸市消防局など (備考) 総合政策爆部とサービス産業学部は学部改組による募集停止の学部です。				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
商学部	382人 (100%)	241人 (63%)	84人 (22%)	97人 (25%)	人 (%)
経済学部	189人 (100%)	128人 (68%)	19人 (10%)	41人 (22%)	人 (%)
人間社会学部	289人 (100%)	217人 (75%)	29人 (10%)	50人 (17%)	人 (%)
合計	860人 (100%)	586人 (68%)	132人 (15%)	188人 (22%)	人 (%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要) 前年度11月ごろの教授会・教員会において、シラバス作成にあたっての入力項目と必要事項、ならびに作成スケジュールについて告知を行う。非常勤講師については、別途科目担当の依頼と同時にシラバスの作成についても案内する。 すべての学部において、同様に取り組んでいる。</p> <p><シラバス項目> 授業の概要、到達目標、提出課題、評価の基準、履修にあたっての注意・助言他、教科書、プリント資料及び参考文献、授業計画、予習・復習、オフィスアワー、科目の位置づけ</p> <p><シラバス作成スケジュール> 前年度2月初旬 ポータルサイトにて教員入力開始(専任・非常勤) 2月中～下旬 教員入力締切(専任・非常勤) 3月中旬～当年度末 ポータルサイトにてシラバス公開 6月ごろ 大学ホームページにて公開</p>	
---	--

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要) 本学のディプロマ・ポリシーは、本学の学生が卒業時に共通に身につけておくべき資質・能力と、各学部・学科所属の学生が卒業時に身につけておくべき資質・能力によって構成されています。</p> <p>本学は、「流通科学大学学則」に基づき、本学の各学部・学科に所定の期間在学し所定の単位を取得したことをもって、これらの資質・能力を身につけたものとみなし、学生の所属学科に応じた学士の学位を授与します。</p> <p>本学の学生が卒業時に共通に身につけておくべき資質・能力は、以下の5項目です。</p>
--

(1) 「ネアカ のびのび へこたれず」の精神をもった人材 (2) 知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材 (3) 創造力（新しい視点と豊かな発想）を持った人材 (4) 自主・自立の精神を持った人材□ (5) 仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
商	経営	124 単位	有・無	単位
	マーケティング	124 単位	有・無	単位
経済	経済	124 単位	有・無	単位
	経済情報	124 単位	有・無	単位
人間社会	人間社会	124 単位	有・無	単位
	観光	124 単位	有・無	単位
	人間健康	124 単位	有・無	単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページへ掲載

<https://www.umds.ac.jp/about/data/building>

⑧授業料、入学料その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	施設設備 維持拡充 費	教育充実 費	教育後援 会入会金 (初年度 のみ)	教育後援 会費	同窓会費 (4年次 のみ)	合計
商	マーケティング	770,000 円	300,000 円	100,000 円	100,000 円	10,000 円	42,000 円	35,000 円	1,357,000 円
	経営								
経済	経済								
	経済情報								
人間社会	人間社会								
	観光								
	人間健康								

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 入学時に新入生オリエンテーションを実施、1年次後期開始時、および2～4年生進級時にもオリエンテーションを実施。その他、学修相談に随時応じるとともに、未履修者への連絡、低単位取得者に対しての定期的な面談を実施。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 3年生5月より就職ガイダンスを計9回実施。その他、進路個人面談、筆記対策講座、ゼミ訪問、企業見学ツアー、学内企業説明会、就職対策宿泊セミナー等を実施。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要) 保健室では、健康診断・病気やけがの応急手当・健康相談を受け付けている。学生相談室では、カウンセラーが常駐し、心の相談を受け付けている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学ホームページ「教員プロフィール」に掲載
<https://www.umds.ac.jp/academics/profile/>
および「教育研究等活動報告」冊子を作成している。